

第4章 計画の推進体制

健康づくりは、まず、市民一人一人が健康の重要性について理解を深め、自らの健康の管理に努めながら、生活習慣の改善に取り組むことが不可欠ですが、個人の努力だけでは達成は難しく、地域社会と環境づくりなどの支援が必要です。市民が主体的な健康づくりを広げ、継続していくために、行政をはじめ家庭や学校、地域、保健・福祉・医療関係団体、マスメディア及び企業等の協力・連携のもと、健康づくりへの取組を積極的に支援する体制を整備します。

1 健康づくりの取組におけるそれぞれの役割

市民の役割

健康づくりの主体者として、健康の大切さを認識して正しい知識や情報を習得し、自身に適した健康づくりや生活習慣病等の予防に努めるとともに、積極的に健康診査や、歯科健診、がん検診等を受診し、疾病の早期発見、早期治療に努めることが求められます。

また、身近な生活の場で、健康づくりに取り組む仲間との交流や実践に参加し、一人一人の健康づくりを支え、運動の輪を広げる原動力となることが期待されます。



家庭の役割

家庭は、食習慣など、乳幼児期から生涯を通じて、正しい生活習慣を身につけるための基礎的な役割が求められています。また、健康の重要性について学習する場であるとともに、やすらぎの場でもあるため、健康的な生活を維持する上で家族が互いに協力し、助け合うことが大切です。

地域社会の役割

市民の生活の場である地域社会における自主的な取組は、健康づくりを進めるために重要な意義を持っており、市民の健康に関わる社会環境の改善や自然環境を守り大切にする活動などを通じ、より健康なまちづくりを進めることが期待されます。

＜健康づくりに関連のある地区組織＞

○地域コミュニティ協議会

地域の個性及び自立性を尊重した地域のまちづくりを行うための組織で、本市には現在44地区にコミュニティ協議会があります。自治会をはじめ、こども会、婦人会、老人クラブ、交通安全母の会、体育協会、消防団、市民活動団体など、地域の各種団体や個人が連携して、地域の課題の解決に総合的に取り組んでいます。各コミュニティ協議会の中で保健委員や食生活改善推進員が健康づくりのため活動を行っています。

・保健委員会

地域コミュニティ協議会の中に保健委員会があり、「高松市健康都市推進ビジョン」に基づき、地域住民の主体的な健康づくりを支援するとともに、会員相互の親睦を図り、地域に密着したきめ細やかな保健・献血活動を推進しています。主な活動は、各種行事の周知や声かけ、講演会の開催、健康ウォーキングの実施、子育て支援の協力などです。

○保健委員会連絡協議会

保健委員会連絡協議会は、市内各地区の保健委員会会長で構成され、相互の連絡調整と、地域に密着した保健活動を積極的に進めています。主な活動は、「保健委員会だより」の発刊、「高松市民献血の日」記念行事、「高松市民健康の日」記念研修会の開催及び健康づくりの啓発などです。

○食生活改善推進協議会

市民の栄養及び食生活改善の普及・指導を通して、健康増進に寄与することを目的に、市内41地区で推進員が「私達の健康は私達の手で」をスローガンに活動しています。主な活動は、伝達講習会などです。



学校の役割

学校は、少年期から青年期にかけて多くの時間を過ごすため、健康観の確立や望ましい生活習慣の基礎を築く場として重要な役割を担っています。

子どもの健康づくりに関する取組としては、保健学習により子どもの頃から正しい生活習慣が身に付けられるよう努めるほか、病気や怪我に対応するための保健指導をします。さらに、学校検診を行い、その結果に基づき適切な処置をとっています。

多様な人々との関わりや様々な体験を重ねることにより、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭や地域社会の人々に協力を得るなど連携を深めることが大切です。



企業・事業所（職場）の役割

企業・事業所は、法令に基づき職員の健康診断を実施するほか、健全な職場環境を形成するとともに、受動喫煙防止対策や健康づくりのための活動の場や機会を確保することが必要です。また、退職者の地域活動の自発的な参加を促す意味からも、地域社会への貢献活動を実践することが望まれています。



医療機関等の役割

健康問題の相談や疾病の予防、生活習慣病の治療や管理などの一次医療（プライマリ・ケア）の中心的な役割を担っているのが地域の身近な医療機関です。

この他、医療機関には、疾病別、臓器別医療など高度な医療を入院医療や専門外来医療により提供する二次医療機関と、特殊な医療機器が設置され、先進的な技術を要する高度な医療を提供する三次医療機関があります。

これら医療機関は、他の医療機関等と連携し、保健指導、健康診査、治療その他の保健医療サービスを市民が適切に受けられるよう配慮するとともに、健康づくりに関する知識の普及啓発に努める必要があります。

ボランティア団体・NPO（非営利団体）の役割

ボランティア団体やNPOは、柔軟で先駆的な活動に取り組むことができ、活動を通じて多面的に多くの人々とつながることができます。このため、健康に関する情報やサービスを身近にきめ細かく提供することや、これらの相互の連携、情報交換、ネットワーク形成による効果的なサービス提供が期待されます。

マスメディアの役割

生活習慣の改善を進めるには、改善の必要性やその方法を健康情報として提供することが必要なため、マスメディアは極めて重要な社会資源として位置づけられます。このため、市民が健康づくりに主体的に取り組むことができるよう、意識啓発に配慮した正確な根拠に基づいた情報提供に取り組む必要があります。



保険者の役割

国民健康保険、健康保険組合、共済組合などの医療保険の保険者は、被保険者の健康の保持・増進を目指した保健事業の充実・強化を図るとともに、特定健康診査及び特定保健指導の実施により、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣の改善に関する情報提供を行っています。

また、関係機関と連携して、より効率的な活動を展開していくことが求められます。

行政の役割

市は、本計画を推進するため、健康づくり気運の醸成に努めるとともに、市民の健康づくり運動の普及・啓発や各種保健事業の推進、また、コミュニティ協議会や保健委員会、食生活改善推進協議会等の地区組織への支援の役割が求められます。

このため、次のような活動に重点的に取り組むことが求められています。

- ◇ 保健施策事業の展開に当たり、市民の健康実態等を踏まえ、生活習慣の改善に向けた対策に取り組むこと。
- ◇ 介護を必要とする状態となることを予防するため、脳卒中や骨粗しょう症の予防、転倒、生活不活発病などによる運動機能の低下を予防するための効果的な対策に取り組むこと。
- ◇ 生涯を通じた健康づくりを積極的に推進するため、正しい健康情報の提供や健康学習の場の提供など、健康づくり運動の普及・啓発を図ること。
- ◇ 誰もが健康で充実した生活を送ることができるよう、地域、社会の絆を深め、あらゆる人々の健康を守り支えるための社会環境の整備に努め、健康なまちづくりを進めること。
- ◇ この計画に掲げる目標値の達成状況を評価するための調査等を実施するとともに、中間評価、最終評価において本市の取組を検証し、健康づくり施策の見直しと市民の健康づくりを支援する体制を整備すること。



2 計画の推進体制

(1) 高松市健康づくり推進懇談会（地域・職域連携推進協議会）

市民の生涯にわたる健康の保持及び増進に係る施策の総合的な推進を図るため、「高松市健康づくり推進懇談会」を設置しています。委員は、医師会をはじめとする職能団体の代表者及び地域コミュニティ協議会をはじめとする地区組織、市民の代表者、学識経験者などで構成しています。

また、健康づくり推進懇談会を地域・職域連携推進協議会と位置づけ、保健事業の連携による事業の効果的・効率的な活用等による生涯を通じた健康づくりの促進を課題とし、地域・職域連携共同事業の企画・実施・評価等において中核的役割を果たすとともに、「高松市健康都市推進ビジョン」の推進に寄与することを目的としています。

〔所掌事項〕

- ・健康増進法に基づき本市が策定する健康増進計画に関すること。
- ・市民及び関係団体の連携による健康づくり運動の推進に関すること。
- ・生活習慣の改善のための多様な情報提供及び効果的な啓発の推進に関すること。
- ・その他健康増進計画の目標の達成に関すること。

(2) 地域・職域連携推進ワーキング会議

保健事業等の具体的な企画を行うために、実務担当者による会議を開催し、情報共有、具体的な保健事業の共同実施、社会資源の相互有効活用等に関して協議します。

〔具体的内容〕

- ・働き盛りの世代における健康課題について
- ・健康課題に対する地域の各関係機関、団体の役割に関すること
- ・具体的な連携事業の企画、実施、評価等の推進に関すること

(3) 庁内の計画推進組織

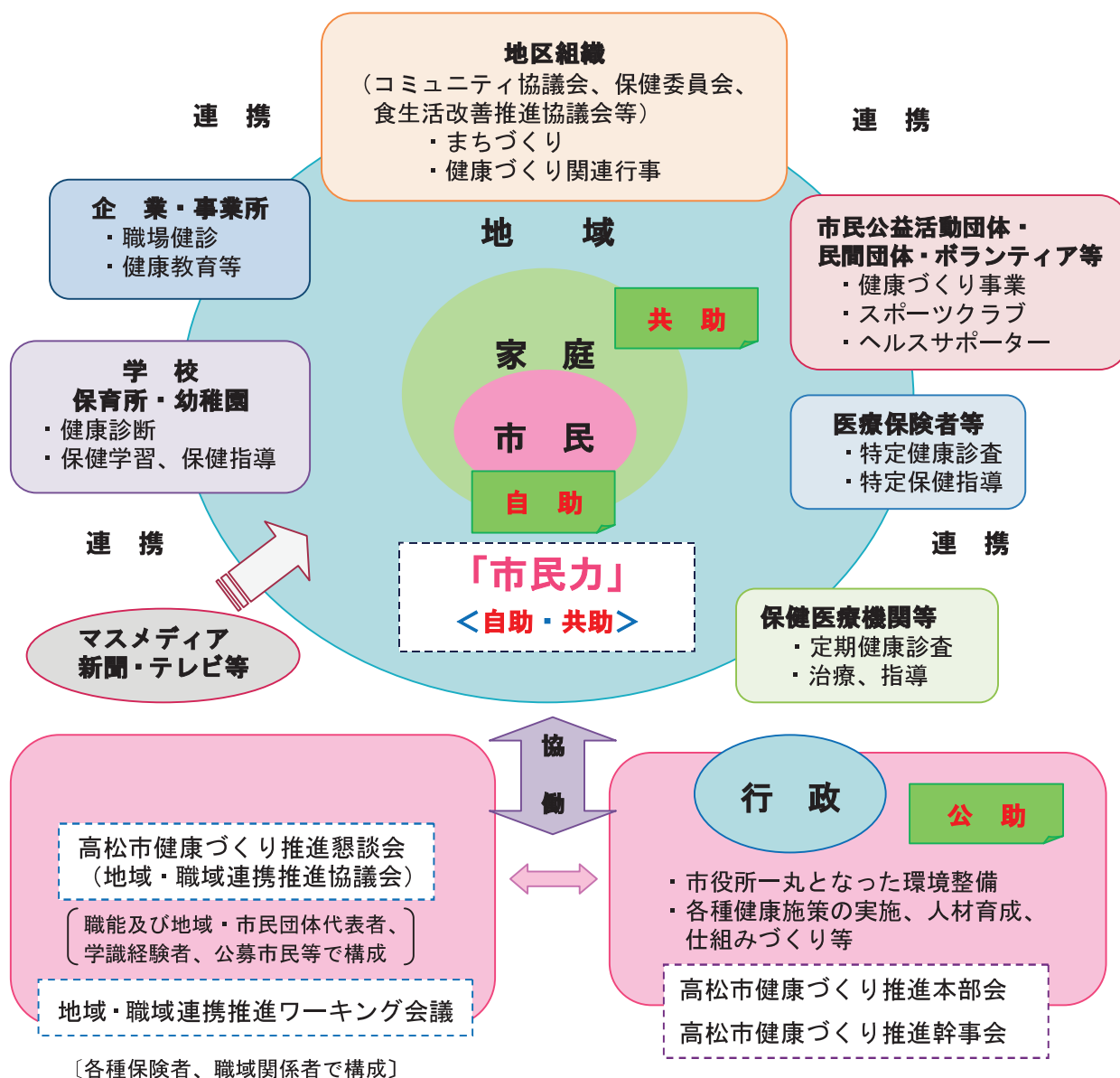
① 高松市健康づくり推進本部会

市役所内の各局長で構成する健康づくり推進本部会は、市民の健康増進に寄与することを目的に、健康課題、健康づくりのための環境整備等について情報交換を行うとともに、相互の連携の促進を図るため、高松市健康づくり推進本部会を開催し、市役所内各局の協力を得て計画を推進していきます。

② 高松市健康づくり推進幹事会

健康づくり推進本部会の下に、関係課長で構成する健康づくり推進幹事会を設置し、高松市健康づくり推進幹事会を開催して、計画を推進するために具体的な協力や連携を図りながら計画の進行管理をしていきます。

【「高松市健康都市推進ビジョン」の推進体制】



健康づくりは、自分で主体的に取り組むこと(自助)、家庭や地域で一緒に取り組むこと(共助)、自助や共助への公的支援(公助)により進めていき、新しい公共力である「市民力」を高めることが大切です。

高松市は、地域活動の支援や健康づくり対策の調整・推進の役割を担い、この計画を効果的に推進していくために、それぞれが役割遂行を果たせるよう連携を支援していきます。

そして、誰もが安心して充実した人生を送ることができるように、それぞれの地域社会において、人と人との絆を深め、市民相互の助け合いによって、共に生きる社会づくりを推進します。